

■日時 令和4年8月18日(木) ■天候 晴れ時々曇り

大智学園高校・通 対 天理高校

■球場 駒沢硬式野球場 第1試合 5回戦 決勝戦 ■試合時間 3時間26分 ■備考

■審判 球審:竹本 塁審:大和 小田 牧野

出場校名	代表地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9						計	安	失
天理	東近畿1・奈良	2	2	4	3	2	0	2	0	0						15	11	0
大智学園	東京1	1	0	0	0	0	4	1	2	0						8	7	7

天理																			
	ポジション			氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	左			矢部 理澄	3	2	2	1	四球	四球		左安	二飛		左2		四球		
2	二			溝淵 貴太	4	1	0	0	捕犠		左飛	中飛	四球		一邪		捕邪		
3	中			片山 陽平	6	3	3	3	二失		遊失	左安	右3		左安		左飛		
4	投	一	投	有本 義人	3	2	2	2	中安		四球	左安	左飛		四球				
5	一			小西 健太	5	2	2	2	三ゴ		中安	左3		右飛	三ゴ				
5		投	一	田中 大海	0	0	0	0											
6	捕			松越 功	2	2	0	0		四球	四球	四球		三振		投飛			
7	遊			高尾 昂志	5	0	1	1		三振	三振	中安		三振		三ゴ			
8	三			堀田 仁	4	2	1	1		左安	中失		三ゴ		死球	遊ゴ			
9	右			丸木 聖悟	4	1	0	0		捕邪	遊ゴ		四球		三振	遊ゴ			
合計					36	15	11	10	残塁:6 併殺:0										
備考																			

■バッテリー

投手	捕手
有本 義人	松越 功
田中 大海	
有本 義人	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
有本 義人	7	0/3	34	6	10	7	137
田中 大海	1	2/3	8	1	2	1	26
有本 義人	0	1/3	1	0	0	0	7

大智学園																			
	ポジション			氏名	打	得	安	点	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	一			石井 豪	4	1	2	1	左安		四球	三振	二ゴ		捕安				
2	左			山田 薫大	3	0	0	0	三犠		一直	三ゴ	三ゴ						
2	打			岩浦 琉偉	1	0	0	0								三振			
2			右	高橋 史紋	0	0	0	0											
3	投	遊	投	森本 尋大	3	1	1	1	右3		三振		二飛		四球	*1			
4	中			佐々木 哲士	4	1	0	1	右飛		三振			四球	三振	遊ゴ			
5	捕			田川 裕誠	3	1	1	1	三振			死球	四球	左安	一飛				
6	二			小林 優斗	5	1	1	2		中飛		三ゴ	中2	三振		三振			
7	右			福田 璃旺	5	1	2	1		三振		右安	中2	三振		遊ゴ			
8	三			森崎 圭太	3	1	0	0		三振		三振	四球		四球	一邪			
9	遊	投	遊	斎藤 空	2	1	0	0			四球	二ゴ	捕飛		四球				
合計					33	8	7	7	残塁:9 併殺:0										
備考 *1は申告敬遠																			

■バッテリー

投手	捕手
森本 尋大	田川 裕誠
斎藤 空	
森本 尋大	

■投手成績

氏名	回数	打者	安打	三振	四球	自責	投球数
森本 尋大	2		10	2	3	3	49
斎藤 空	2		15	5	3	5	65
森本 尋大	5		23	3	5	4	91

■戦評

大会4日目、雨の影響で明治神宮野球場から駒沢オリンピック公園硬式野球場へ場所を移して行われた第69回大会決勝戦。前日の準決勝で埼玉県代表清和学園高校・通信制との試合を制した東京都第1代表大智学園高校・通信制と準決勝で西中国地区代表広島市立広島みらい創生高校・定時制・通信制との試合を制した東近畿地区第1代表天理高校の対戦となった。天理の攻撃から始まった試合は先頭矢部が四球で出塁するとすかさず盗塁でチャンスを広げる。バントでランナーを三塁へ進めるとボークで先制。更に1点を加え幸先よく2点を先制。その裏大智学園も1番石井がレフト前ヒットで出塁しバントでランナーを進め3番森本の三塁打で1点を返す。その後天理は着実にチャンスを作り得点を重ね5回までに毎回の13得点を奪う。グラウンド整備後の6回天理打線を大智学園エース森本がこの日初めての三者凡退に抑える。すると続く攻撃で天理エース有本から四球2つを選んでチャンスを作り6番小林と7番福田の連続タイムリー二塁打などで4点を返す。天理は7回の攻撃で四球やボークでチャンスを作り2点を追加し再び突き放す。しかし追い上げムードの大智学園もその裏ヒットや2つのボークで1点さらに8回にも有本からスイッチした天理2番手左腕田中を攻め2点を取り追い上げを見せたが反撃はここまで。最終回は田中が2つのアウトを取ったところでエース有本が再びマウンドに上がり最後のバッターをファーストファールフライに打ち取りゲームセット。初出場ながら決勝戦にまで駒を進めた大智学園は序盤の失点が響き惜しくも悔しい結果となった。天理が圧倒的な力を見せ15-8で勝利し15大会連続18回目の優勝で第69回大会は幕を閉じた。